



スライド標本の画像をデジタルデータに変換

バーチャルスライドスキャナ
画像撮り込み受託サービス

浜松ホトニクス(株)NanoZoomer S210 バーチャルスライドスキャナを用いて、スライド標本を高精細デジタルデータに変換します。

※バーチャルスライドの画像データ読み込みには、浜松ホトニクス(株)の画像閲覧ソフトウェア(無料ダウンロード)が必要です。

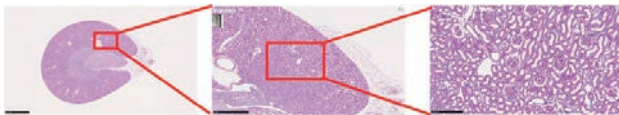
ここがすごい

バーチャルスライドのメリット

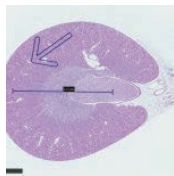
- 複写や共有ができるため、同一試料を複数人で観察可能
- ガラススライドのような破損や紛失、劣化などの心配がなく、いつでも同じデジタルデータとして観察が可能
- 大量のデジタルデータをデータベース化、ネットワーク対応することで、いつでもどこでも画像の閲覧が可能

特長

- 画像データをジェノスタッフ(株)のクラウドサーバー内にアップロードします。
- お客様別の専用パスワードを使ってサーバーへアクセスし、画像データをダウンロードできます。
- 画像閲覧ソフトウェアを使い、ご自身のパソコンでスキャンデータを観察できます。

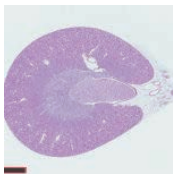


任意の倍率に拡大・縮小



アノテーション

スライド画像に描画や注釈、矢印、長さの計測が可能です。



スケールバー表示



色調補正

画面をファイルに保存
(エクスポート)

ご注文方法/価格

詳細は当社受託・特注品担当までお問い合わせ下さい。

[メーカー：GNS]

画像解析ソフト HALO を用いた
画像解析受託サービス

バーチャルスライドシステムと、画像解析ソフトウェア HALO を組み合わせた画像解析受託サービスです。1枚の画像上で標本組織全体を対象とした画像解析が可能になります。

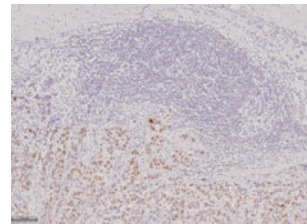
特長

- 標本組織全体での ISH や免疫組織染色の陽性部位の面積測定・線維化部分の面積測定の解析を可能にします。
- バーチャルスライドのデータから組織全体を指定して解析することができるため、**測定範囲を選ぶ必要も、JPEG などで画像を切り出す必要もありません。**

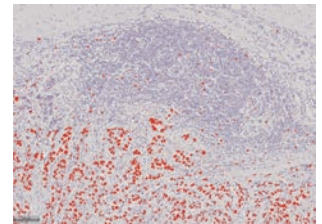


※細胞数測定の解析受託サービスも近日中に開始となる予定です。

解析例：Ki-67 陽性部分の面積測定



顕微鏡観察像



HALO による解析画像

ヒト乳がん組織における抗 Ki-67 抗体を用いた免疫染色。

HALO を用いた解析により、陽性部位が赤色で識別されている。

解析の流れ

Step 1

1. お見積もり (組織染色)
2. 組織染色
3. 染色画像のバーチャルスライド化
4. 測定閾値や範囲などの解析内容について、詳細なお打合わせ

Step 2

5. お見積もり (HALO 解析)
6. 解析
7. 結果のご報告

ご注文方法/価格

詳細は当社受託・特注品担当までお問い合わせ下さい。

[メーカー：GNS]